

梼原町学校応援団だより No.1

令和元年6月14日



梅の実も色づき始めてきましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年度も学校応援団の活動内容をお知らせする便りを発行します。今年度、第1号です。

梼原町学校応援団は『学校支援部会』・『地域活動部会』・『放課後子ども部会』の3つの部会から成り立っています。

学校支援部会では

学校からの要請により、校内の環境整備や授業の講師探し・教材作りなどを、地域の方に依頼しています。現在ボランティア登録者数は、53名と15団体の皆さんです。ありがとうございます。



重たいから2人で！

★4月上旬、土づくりセンターさんから、肥料を10袋いただきました。早速、支援学級の畑や学年畑に入れました。作物や花の観察ができる良い環境になりました。

★5月7日(火)、7年生の総合学習「おもてなしの心を学ぶ」の授業では、梼原町商工会会長の長山さんとまろうど館館長の池田さんに“自分たちにできるおもてなしとは?”というテーマで講話をしていただきました。グループで話し合いをしながら自分たちにできることは何か?を考えました。また、風早茶屋の会会長の西村さんは茶堂で接待をする時に気を付けていていることや、長続きの秘訣について話していただきました。



西村さんの講話



長山さんの講話

★5月15日(水)、1・2年生の生活科『野菜を育てよう』の授業で、JA高知県・津野山営農経済センターの方々4名に指導いただきながら、野菜の苗(キュウリ・ミニトマト・さつまいも)を植えました。



★川井の下井さんから、じゃが芋(種芋)をいただきました。支援学級の野菜作りの授業や、6年生の理科『植物のからだと日光』の授業で使わせていただきます。



優しく土をかけようね～

★3年生の理科で『チョウを育てよう』という授業があります。そこで、東町の坂本さんから幼虫のエサにとキャベツを3玉いただきました。また、実際に坂本さんのキャベツ畑に行き、キャベツがどのように育っているのか観察させていただきました。根っこからいただき、毎日キャベツの中で育っている幼虫を観察しています。

地域の皆さんご支援、ご協力に感謝しています。



青虫かわいい

放課後子ども部会では

すべての児童を対象として、地域の方の見守りや協力で、放課後や長期休業中、安全・安心な活動拠点を設け、様々な体験学習を行っています(登録が必要となります)。

『春休み子ども部会』では、10日間の休みの間67名の子どもが登録して、毎日45人前後の子どもたちが参加しました。

こども園との交流・調理実習・じゃが芋植え・雲の上の図書館・複合福祉施設『YURURIゆすはら』の見学など、色々な体験活動をして楽しく過ごすことができました。



図書館見学



じゃが芋植え



こども園で園児と一緒に遊んでいる様子



川西路の鯉のぼり見学

『放課後子ども部会』では、4月から1年生も入り登録している子どもが80名になりました。毎日、50名以上の子どもたちが、梼原学園のプレイルームや校庭で勉強をしたりボールや一輪車などで体を動かしたりしています。4月22日(月)参観日の代休は、鯉のぼり見学や散歩を楽しみました。

★5月29日(水)に避難訓練を行いました。廊下やホールで地震が起きた場合の避難の仕方や地震のビデオなどを観ました。また、ヘルメットを購入したので、かぶって避難する練習もしました。



ヘルメットをかぶって！

地域活動部会では

地域の方を講師に招き、様々な文化活動や体験学習を行っています。

6月から本格的に始まりました。毎週水曜日は(囲碁・英会話・百人一首・編み物教室)、木曜日は(茶道教室)です。少年消防クラブは7月7日(日)の梼原消防団・女性消防隊連合演習まで週に2回練習を行います。それぞれ、楽しんで参加してほしいと思っています。